

北八ヶ岳周遊山行記 (2646m)

【山行日】 2017年1月14, 15日(土・日) **天候 雪**

【集合】 岩舟町役場前駐車場 5:30

【費用】 マイカー : 18,000 円
(ロープウェイ200円割引利用)
+温泉入浴料600円(100円割引)

【メンバー】 CL: 仙石、SL: 小川、島田、飯田

【コースタイム】

1日目: 岩舟 6:00～岩舟 5:00～駐車場 8:30/9:00～
ロープウェイ駅 9:20～山頂駅 9:27～登山口 9:40
～坪庭 10:00～五辻 10:40～出会辻 11:00～
東屋 12:20～12:50～大石峠 14:00～
麦草ヒュッテ 14:20

2日目: 朝食 6:30～小屋出発 8:00～御池前の林道 9:20～茶臼山迂回 9:25～縞枯山荘 9:55～
ピラタス蓼科ロープウェイ駅 12:07～ロープウェイ駅到着 12:14～温泉(すずらの湯) 14:00/14:30～
岩舟役場駐車場 17:20



確か3年ぶりの雪山山行の申し込みで、しかも苦い経験があります。今回も、正直どうしようかと思いましたが、リーダーに思い切って申し込むと、なんと事前のトレーニング山行に参加をすればOKとのことに参加をすることになりました。

交通アクセスが整備されて来て約3時間半で登山口駐車場に着きます。今回は予定どおり目的地に到着しました。スキーシーズンの最中ではありますが、天候が厳しいとの予報のせいか、駐車場に楽におけました。

見繕いは駐車場です。久しぶりの冬山で、身支度に時間がかかりました。どうも寒さで体の動きが鈍いようです。出発前夜にリーダーに必ず持参するようにと念を押されたワカンをしっかりとザックに縛り付け、準備完了です。リーダーに合わせて準備体操をして出発しました。

まずロープウェイのゴンドラに乗ります。乗車券はJAFの会員で割引になりました。ゴンドラはスキー客などでほぼ満員でした。わずか7分で登山口の駅に着きました。

下りるとリーダーの指示でアイゼンを着けます。登山道は新雪でトレース跡がはっきりしていません。リーダーがしっかり踏み固めた跡を辿り、登山道をゆっくり歩きます。アイゼンで雪を踏みつけると、サクサクと音がします。あ

たりは白一色、粉雪が舞い、風も強く吹き付けます。

坪庭に着くと、ここから北横岳に登る計画ですが、リーダーはその山頂が見えないことなど状況を見て、直接麦草に向かうことに変更しました。

坪庭を過ぎてしばらく歩くと、今度はワカンにしようとのリーダーの声で、アイゼンを外し、ワカンを装着します。慣れない手でワカンをつけましたが、寒さで手が凍えました。雪はアイゼンで大丈夫だと思っていましたが、先行するアイゼン装着の若手のパーティーを次々に追い抜いてしまいました。その判断・威力になるほどと思いました。



普段なら起伏の緩やかなハイキングコースも新雪で踏み跡がないとなかなかきついです。リーダーの踏み跡をしっかりと追います。風も強くなく、時折薄く太陽が見えますが、東屋までほとんど休まず歩きます。

東屋でやっと暖かいラーメンで一息入れました。

そしてまたひたすら歩き、時々リーダーに立休みをお願いし一息入れます。深呼吸だけで随分と違うものです。体が楽になりました。



大石峠を越えると思いのほか早く麦草ヒュッテに着くことができ、ほっとしました。

早い到着にもかかわらず、もうほとんどの泊り客がついていました。良い場所を確保できたか不安でしたが、早い予約が功を奏したようで、2階の個室に休むことができました。

5時半の食事まで酒を飲み歓談します。食事は、品数も多く、特に寒かったせいか、味噌汁がとても美味しかったです。外気が-15度にもかかわらず、電気が自由に使える、衛生的なトイレがとても助かりました。リーダーが、

明日は縞枯山、茶臼山に登るか、それとも周回にするかつづやきます。一同リーダーに一任で決定しました。消灯9時を待たず、早めに休みました。寒さを感じることなく朝までゆっくり休めました。

《2日目》 6時に起床、6時半に朝食です。明け方雪が舞ったようで、時々粉雪が降りかかっているようです。小屋を出て、見繕いを整えます。ワカンを滞りなく付け、スパッツも今回の冬山に新調し万全と思いましたが、左右反対に着けているとの指摘を受けます。しかし、寒くて取り替えるのが面倒になり、支障もないようなのでそのままにしました。

出発は8時、同じコースを辿るとのスノーシューを履いたご夫婦に先行をお願いすると、私たちに先に行ってほしいとの由。歩き始めから粉雪が舞い、踏み跡が全くない道を進みます。しかし今日は昨日のように風が強くないので助かります。少し平坦地を歩くとすぐ樹林帯に入ります。確かここは木道のはずです。夏なら木道歩きでハイキング気分ですが、今日は昨日以上に踏み跡がありません。木道を踏み外さないようリーダーの跡を辿るのが一番と思い、しっかりそのトレースを辿ります。



途中からはご夫婦が先行することになりました。しば



らく平坦が続きますが、その後に登り下りを繰り返し、開けたところが林道分岐です。リーダーはここで木道歩きを止め、大河原林道を辿ることにしました。先行するご夫婦のトレースも林道を向いていました。

林道を歩く途中で、急にリーダーから先を行くように指示を受け、先頭に立ちます。順番を決め、ラッセルを皆に経験させる配慮かと思いました。

その先で林道を途中から外れ、雨池に行くとのこと。ここで先頭の順番が私になり、少し進みますが、それまであったスノーシューの踏み跡が突然消えていました。どうやらご夫婦は引き返したようです。この先進むのかどうか迷います。一面の雪で目指す方向が私には判然としないのです。その時、後ろにいるリーダーから戻ろと声をかけられ、我々も林道に引き返しました。

林道歩きをして雨池峠を越え、やっと縞枯山荘に出ました。スキー客に出会うと、人里に着いたようで、緊張から解けるような気がしました。

ロープウェイのゴンドラに乗り、元の駅に戻ります。レストランで昼食をしていると、先のご夫婦に出会いました。乗り物は利用せず、スノーシューで下りたとのこと。しばし山の歓談になりました。

帰りにすずらんの湯泉で汗を流しました。雪山で冷えて疲れた体を癒してくれました。 (記：飯田)